

水彩風景

【解説】

二〇一七年十二月十日、第3回今藤政太郎作品演奏会（紀尾井ホール）において、クラシック歌手の波多野睦美氏が、日本の歌曲・邦楽をうたった「今藤政太郎作曲 小品歌曲集」より。

佐藤春夫（二八九二～一九六四）『車塵集』（昭和四年・一九二九）所収の詩「水彩風景」に、政太郎が曲をつけた。詩集『車塵集』は、唐・明など時代の中国の女流詩人が遺した漢詩を、佐藤が日本語にしたものを集めている。〈「さびしき田舎」に歩みをさまよわせる長閑な趣の曲だが、そこにもどこか、艶な情感が漂う。〉（磯山雅氏による曲目解説より）

昭和四十年（一九六五）「第2回創作邦楽の展示」にて初演。